

PUBLIC



PUBLIC WAY 2018-19

～社会正義への道～



WAY 2018-19
～社会正義への道～



PUBLIC-G.COM

株式会社パブリック
香川県観音寺市大野原町福田原241番地1
TEL:0875-57-1200 FAX:0875-57-1201

<http://www.public-g.com>

PUBLIC-G

検索



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C004514

この印刷物は、環境にやさしい
「ノンVOCインキ」と
「FSC認証紙」を使用し、
「水なし印刷」で製作しています。

1,500部作成のための総排出量 1,019.9kg-CO₂ 1部あたり680g-CO₂
この印刷物から発生するCO₂はカーボン・オフセット・ジャパン(www.co.jp)を通じてオフセットされています。



PUBLIC-G.COM

株式会社パブリック

「パブリック」とは“社会正義”

Contents

編集方針／対象範囲／環境方針	01
トップ・コミットメント	02
【特集1】 SDGsとパブリック	03

I 環境マネジメント	
会社概要・沿革／経営理念	05
香川県環境配慮モデル事業所認定／車両紹介	06
パブリック・グループ業務内容紹介	07
パブリック事業拠点と一般廃棄物対応エリア一覧／産業廃棄物許可一覧	09

【特集2】 丸亀事業所 不燃ライン設置	11
---------------------	----

II 境負荷の低減	
マテリアルバランス	13
産業廃棄物収集運搬(特管)と処分量取扱量	14

III 社会との関わり	
お客様とのコミュニケーション	15
社員とのコミュニケーション	16
地域とのコミュニケーション	17
食品リサイクルの取組み	19
チャンスコード(クレーム)とその対応／スタッフボイス	21
編集後記／本報告書の作成について	22

編集方針

- 環境省「環境報告書ガイドライン～持続可能な社会をめざして～(2007年度版)」を参考に作成しております。
- 当グループの社会との関わりやコミュニケーションに重点をおくものとして、その取組を中心に掲載しております。

「PUBLIC WAY」の対象範囲

対象期間

2017年9月～2018年8月
但し行政報告数値などは2017年4月から2018年3月となっております。
また、ユーティリティ数値およびそれに基づくCO₂排出量の集計期間は該当ページに記載しております。

対象組織

株式会社パブリックおよびグループ会社、一部指定管理先および合同出資会社も含まれます。

報告範囲

当グループ事業における環境的側面と社会的側面についてご報告致します。

環境方針

1. 組織の目的、活動、状況

当社及び当社グループの廃棄物処理事業において、環境を大切にする当社経営理念に基き、環境に配慮した活動を展開します。

2. 環境目標の設定のための枠組

環境方針の達成、利害関係者のニーズ及び期待、当社事業をとりまくリスク及び機会等外部及び内部の課題を考慮した環境目標を設定し、意図した成果の達成に取組みます。

3. 汚染の予防、環境保護のコミットメント

廃棄物処理の事業活動にかかる環境影響を把握し、廃棄物の適正処理を推進し環境汚染の予防に努めます。廃棄物を資源としてとらえリサイクルを推進するとともに、燃料・電力等エネルギーの適正な使用に努め環境負荷の低減に取組みます。

4. 順守義務のコミットメント

廃棄物処理事業にかかる各種法令・条例・許可条件等を順守し、廃棄物の適正処理に取組みます。当社事業活動により環境への問題が発生しないよう地域の生活環境に配慮した事業活動を行い、地域社会の理解と信頼を高めるように努めます。

5. 繼続的改善のコミットメント

環境目標の意図した成果への取組み評価を行い、環境パフォーマンスを向上させるために継続的な改善を行います。是正すべき問題点が発生した場合には、原因を究明し再発防止に取り組みます。

全従業員がこの環境方針の認識をもつよう伝達し、環境への意識向上を図り環境活動に取組みます。この環境方針は利害関係者等が入手出来るよう一般に公開します。

2018年4月1日
株式会社パブリック 代表取締役社長 三野 輝男

という意味なんだよ。

元日本弁護士連合会会長
中坊公平先生 談 (1995年12月10日)

Top Commitment トップ・コミットメント

使命感

未来創造・ラブアースマインド PUBLIC
2018年 断行指針 敬天愛人・率先垂範

事業目的 全従業員の物心共の幸福を追求する。

事業憲章 安全・健康・遵法・品質・利益
人員投資 → 社員満足 → 愛社精神 → 顧客満足 → 安定成長



PUBLICとは…

中坊公平弁護士曰く(1995年12月10日)「PUBLIC」とは「社会正義」なり
昭和52年我々が法人名称を選定する時、PUBLICとは公共、未来とは明るいTimeという意味だけだったと感じ、信じて歩んで参りました。以降、「PUBLIC」とは「社会正義」、未来とは「PUBLIC」なNext Time社会正義溢るる次の時間と理解しています。

PUBLIC WAY 「社会正義への道」

これからもPUBLIC WAYを天命と信じ、「社会正義溢るる次の時間を創る事」を使命と信じ
静脈産業を天職と感じ、念じ邁進致します。

PUBLICとは偉大な言葉である。すばらしい社名に御縁ができました。
幸運であり、責任の重さを自覚せざるを得ないと感じます。

本年度も、私たちの地域社会や環境に対する考え方や取組を皆様に知って頂きたく
「PUBLIC WAY～社会正義への道～2018-2019」を発行させて頂きました。是非、御一読くださいませ。
今後も、弊社並びに社員関係者一同に対し、厳しく、優しく、力強い叱咤、ご指導、御支援を慎んでお願い申し上げます。

株式会社パブリック 代表取締役社長 三野 輝男



未来創造・ラブアースマインド! パブリックは SDGsとパブリック

私たちパブリックは、異常気象による災害やエネルギー問題、環境調和型社会の構築など、地球規模の課題を解決していくために、新しい技術や事業を生み出しています。国連で採択されたSDGsが掲げている「持続可能な社会の実現」は、パブリックの存在意義と言つても過言ではありません。

このページでは、私たちの事業および取り組みとSDGsの関連性について掲載いたします。

RPF製造

廃プラスチックと古紙、木屑などを主原料にした高火力な固形燃料です。化石燃料の代替品として注目されています。



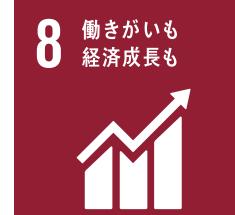
地域清掃

地元の方とのつながりを大切にし、清掃活動だけでなく、地元のお祭りやボランティア活動にも参加させて頂いております。



エコストーション

スーパーの駐車場や公共施設等に市民の皆様がいつでも利用できる資源回収スポットです。古紙や空缶、ペットボトル等の資源を回収再資源化します。



「総務省ホームページより抜粋」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

エコマスター

トンネルコンポスト施設の稼働

(株)パブリックとエビス紙料(株)が共同出資している(株)エコマスターは、「バイオマス資源化センターみよ」を平成29年4月から稼働させました。主要な処理技術は日本初の「トンネルコンポスト方式」で、生ごみやプラスチック類が混在しているものでも微生物の力で合理的にリサイクルすることができます。



食品リサイクル

オーガニックファーム、
食品循環型社会貢献市販む



小学校見学受入

小学生に廃棄物の処理工程・リサイクルへの取り組みを知っていただくため、工場見学を行っております。小学生の児童の皆さんだけでなく、会社、地域単位での見学も行っております。



復興支援

未曾有の災害で被災された地域に、全国清掃事業連合会を通じて現地の復興支援活動に参加しています。



環境マネジメント

会社概要・沿革

会 社 名	株式会社パブリック
本 社	香川県観音寺市大野原町福田原241番地1
電 話	0875-57-1200
資 本 金	3,000万円
グ ループ 年商	45億円
従 業 員 数	290名(内パート・アルバイト70名)
主な事業内容	一般廃棄物収集・運搬・処分 産業廃棄物収集・運搬・処分 特別管理産業廃棄物収集・運搬 廃棄物再生利用 普通肥料生産 財務状況
	財務諸表については「産業廃棄物処理業者の優良性の判断にかかる評価制度」に基づき、貸借対照表と損益計算書を産廃情報ネット※に公開しています。 ※ http://www.sanpainer.net/index.cfm

沿 革	昭和48年 5月 一般廃棄物収集運搬業開始 昭和52年 7月 産業廃棄物処理業開始 平成 7年 1月 有限会社パブリック設立 平成14年 8月 ISO14001認証取得 平成17年 4月 固形燃料化施設設置 平成17年 6月 木くず破碎施設 平成17年 7月 本部事業所を観音寺市大野原町移転 平成18年 8月 選別施設設置 平成18年 11月 松山事業所開設 平成19年 7月 四国中央事業所開設 平成19年 9月 株式会社パブリックへ商号変更 平成20年 3月 観音寺市指定管理者の受託業務 平成21年10月 高知営業所開設 平成25年 3月 エコアクション21認証取得 平成25年 7月 香川県 優良産廃処理業者認定 平成25年 9月 最終処分場(安定型)の許可 平成26年11月 愛媛県 優良産廃処理業者認定 平成26年11月 高松市 優良産廃処理業者認定
-----	---

経営理念

信念

PUBLICとは社会正義なり。
私達は社会正義[Public Way]を全うします。
私達Public Manは人類として地球に生を受けたる事に感謝し、立派な日本人、社会人、企業人、家庭人一人の人間として、社会正義への道[Public Way]を目指す事を天命と自覚し邁進します。

我社の使命感(存在意義)

使命感「未来創造・ラブアースマインド-PUBLIC」 未来とは社会正義溢るる将来、未来を作り出します。地球を大切に思い、愛し、地球の静脈を守り、管理し、地球の最高の管理責任者である人類としての役割を全うする、立派な会社として社員を育て練磨し、お客様及びすべての関係者に愛され、頼りにされる会社になる事を天職と信じ、パブリックな会社になる事に邁進します。私達は地球静脈防衛軍!!

経営方針

私達は社会正義経営を約束します。
私達は現在業務(地球静脈管理コストのマネージメント)を天職と信じます。社会性(天道)、人間性(人道)、経済性(営道)を保ちます。その道を極めた「極人軍団」を組織し、全員営業体制にてお客様を開拓し、そして守ります。最高の商品、サービスを低価格で提供すべくE.L.P(everyday low price)・E.L.C(everyday low cost)・E.H.M(everyday high management)を約束します。

行動指針

私達はPublic Manとして社会正義に基づきパブリックな行動をします。訓練、研修を怠らず、天を信じ、自己の能力を最大限に発揮し、周囲の人々を幸福にします。親孝行を忘れず、年長者を尊敬し、心と、体と、頭脳と、企業と、地球の健康に留意し、自己管理を徹底します。挨拶、返事、履物を揃える、元気なPublic Manになります。万事五分、人生五分を理解し、3C(チャンス、チョイス、チャレンジ)精神で断行します。

認定・表彰

香川県環境配慮モデル事業所認定

弊社の「生物脱臭装置の開発」、「実用化による臭気に対する環境保全」、「一般廃棄物及び産業廃棄物の再資源化」などの取組みが平成29年度の香川県環境配慮モデルに認定されました。また「認定リサイクル製品」として丸亀リサイクルプラザで食品リサイクルにて製造しております堆肥の「リ・グリーン」と「食品汚泥ゆうき」が認定を受けました。



※「香川県環境配慮モデル制度」とは、循環型社会を形成していく上で、環境負荷の低減の取組みにおいて、同業他社の模範になると判断される県内の事業所を「モデル事業所」として認定する制度です。
※「認定リサイクル製品」とは、廃棄物等を使用して県内において製造加工され、廃棄物等の発生抑制やリサイクルの推進に効果があり、他の模範となるような製品であると県が認定したリサイクル製品です。

■香川県 環境配慮モデルサイト <http://www.pref.kagawa.lg.jp/content/etc/subsite/hozan/model/index.shtml>

環境省 四国環境パートナーシップ

「第3回四国環境パートナーシップ表彰 表彰式」に於きまして弊社の「環境保全活動」が地域課題解決部門の優秀賞を受賞いたしました。四国内の行政や企業や学校、NPO法人などの団体の中から「着眼点」、「協力・協調」、「社会への貢献度」、「発信力」、「課題の同時解決」などの審査基準により優れた取り組みに対して選考され、本年は弊社の他に愛媛県の高校3校とその他2つの団体が表彰されました。



様々な車両で、多種多様な廃棄物に対応しております。



パブリック・グループの業務内容紹介

収集運搬

一般廃棄物の許可エリア、所有する車両台数などは四国最大級を誇る当社はサービスでもナンバー1を目指しております。産業廃棄物では常に新メニューを取り入れ多種多様なメニューを準備しており、状況に応じた適切な対応が可能となっております。

PSSMD (パブリック・スーパー・セールス・マネジメント・ドライバー)
教育や外部からのプロセールスドライバー講師を招いての添乗指導、検定制度など、運搬のサービス面の強化に努めています。

15PでPSSMDについて紹介



マンション等の維持管理工事レスキュー対応



集合住宅などの共有スペースの剪定作業や草抜き、害虫駆除や清掃、電球交換等の維持管理の工事を行っております。



スーパーの駐車場や公共施設等に市民の皆様がいつでも利用できる資源回収スポットです。古紙や空缶、ペットボトル等の資源を回収再資源化します。回収ボックスを設置するだけの簡易タイプからポイント券も発行できる機材を設置したタイプまで、お客様のニーズにお応えいたします。当社は世界No.1ブランドTOMRA(ノルウェー)の四国地区総代理店です。



一般廃棄物収集運搬

四国全域で60台を超える車両が、365日休まずにごを回収しております。約4000件にものぼるお客様のニーズにお応えできるよう、PSSMD教育を受けたドライバーがお伺いします。

産業廃棄物収集運搬

産業廃棄物から感染性廃棄物やPCB廃棄物、廃石綿などの特別管理産業廃棄物の収集運搬許可を得ておおり、さまざまな車両を用いて、多彩な状況に適切かつ迅速な対応をいたします。

一般・産業廃棄物処分業／リサイクル

ご紹介している業務の他、様々な品目や処理方法に対応しております。



エコマスター

パブリックとエビス紙料の共同出資による(株)エコマスターの「バイオマス資源化センターみよ」では、三豊市内で発生する一般廃棄物の燃やせるごみおよび産業廃棄物を微生物で発酵乾燥させ、最終的に固形燃料にリサイクルします。環境省から補助金を受けて整備を進め、平成29年より稼働を開始しました。日本初のリサイクル技術で低炭素社会に貢献します。

計量証明事業

有限会社ヴェインは、自然環境と人間が共生する循環型社会を目指す一環として、平成18年に香川県知事登録を受け、計量証明事業を立ち上げました。(環境第23号)各種工場の排水・工程水、浄化槽排水、最終処分場などの様々な水の分析を行っています。また廃棄物の性状検査・有害物検査・土壤検査・ダイオキシン類測定・河川調査なども取り扱っています。



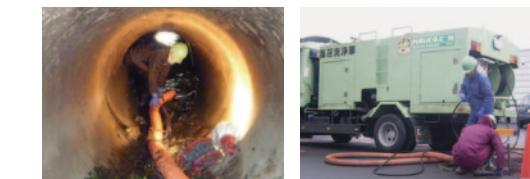
チェーン店等の複数拠点の廃棄物一元管理

複数拠点の廃棄物の窓口が、一つになることで事務作業等の効率化、コストカットに。電子マニフェストの代行入力システムも整備、コンプライアンス面もサポートします。



吸引・高圧洗浄作業

ご紹介している業務以外にも様々な車両、設備を用いて排水周りの業務に対応しております。ご相談ください。



バキューム車を使って排水管や工場ブル、貯水池などに溜まった汚泥・汚水・産業廃液などを吸引し清掃・運搬します。また、店舗様のグリストラップや排水溝の清掃なども承っております。

建設事業部

ご紹介している業務の他、住まいに関する様々な問題解決に迅速に対応いたします。



ショッピングモールなどのテナント店舗改装や入替にあたっての仮囲い設置、部分解体、造作撤去、間仕切り壁撤去、床材撤去などの作業を閉店後の時間を使って行います。

食品リサイクル

食品リサイクル法の施行以来、年々高まる食品廃棄物のリサイクルへの要求に応えるべく「丸亀リサイクルプラザ」では、選別、発酵乾燥、破碎、肥料化と様々な処理法を駆使し、より高い再生利用率を目指しています。



パブリック事業拠点と一般廃棄物対応エリア一覧

四国全域対応可能!!

直営収集エリア(四国島内)

- 人口カバー率…46.6%(香川県内…91%)
- 市町村数………24.2%(23/95)

一元管理エリア(直営含む)

- 人口カバー率…95.2%(香川県内…99.7%)
- 市町村数………69.5%(66/95)



凡 例

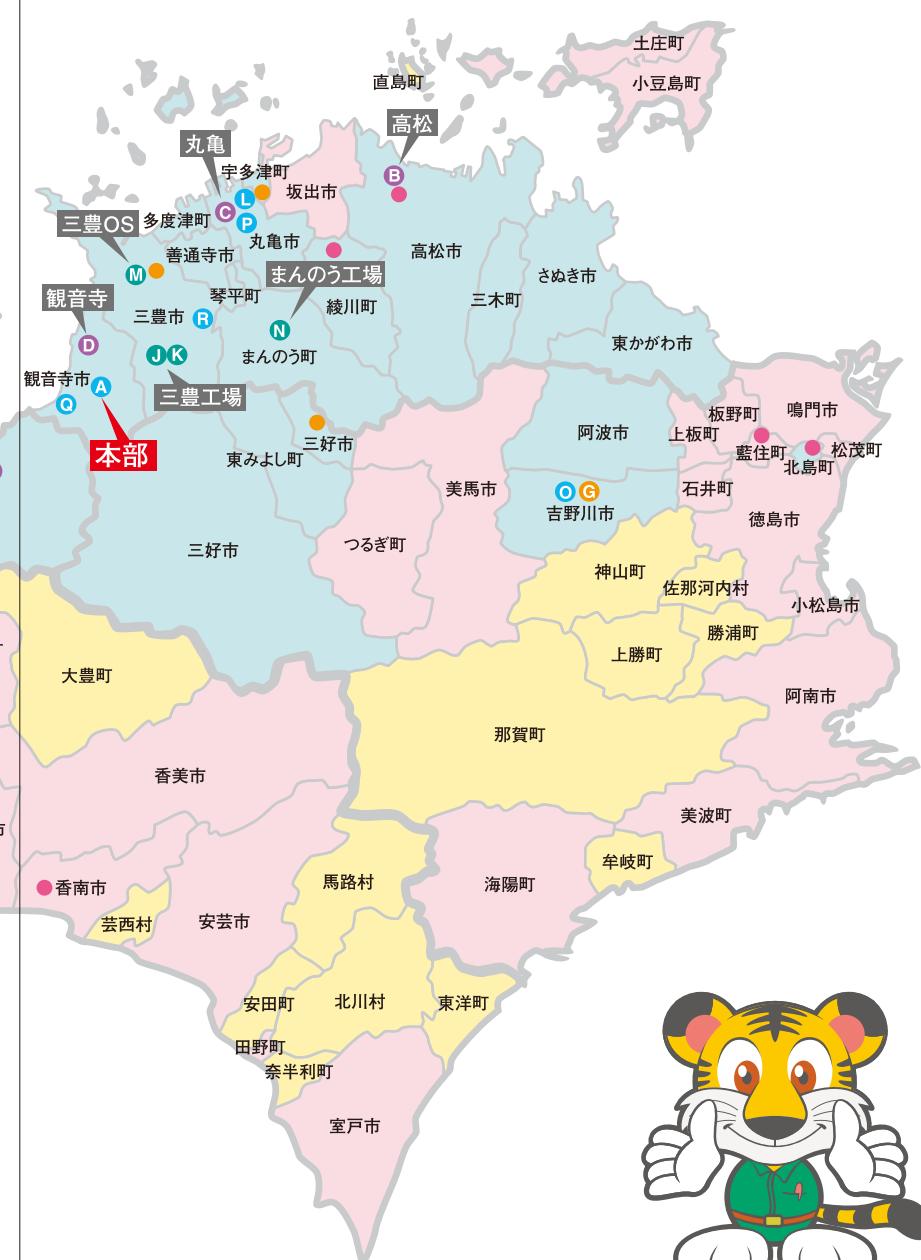
- 事業所 (5)
- 工 場 (4)
- 事務所 (6)
- 出張所 (6)
- 法 人 (6)

- パブリックグループ直営対応エリア
- 協力業者対応エリア
- 対応可能エリア

■産業廃棄物【収集運搬業】許可一覧

都道府県 及び 政令都市	有効期限	許可番号	許 可 品 目															
			産業廃棄物 収集運搬業			特 別 管理 産業廃棄物 収集運搬業												
燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	木くず	繊維くず	動植物くず	ゴムくず	金属くす	及コガスくず	鉱石くず	磁器くず	紙くず	木くず	繊維くず	ゴムくす	金属くす	ガラスくす
香川県	平成36年5月21日	03717028664	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	平成36年5月21日	03767028664	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
高松市	平成36年5月21日	09711028664	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
愛媛県	平成36年2月 6日	09761028664	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
松山市	平成36年4月11日	3815028664	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	平成36年3月29日	3885028664	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
徳島県	平成32年5月21日	3600028664	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	平成32年3月28日	3650028664	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
高知県	平成32年5月 7日	03900028664	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	平成32年5月29日	03950028664	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
高知市	平成32年5月 7日	09211028664	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

□産業廃棄物収集運搬業 □特別産業廃棄物収集運搬業 □特定有害産業廃棄物



■産業廃棄物【処分業】許可一覧

都道府県 及び 政令都市	取得年月日及び 有効期限	許可番号	処理する産業廃棄物の種類															
			溶融	圧縮	破砕	固形燃料化	選別	水溶分解	埋立	減容	破碎	切断	減容	圧縮・梱包	選別・圧縮	ガラスくす	繊維くす	ゴムくす
香川県	平成36年11月10日	03747028664	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
高松市	平成33年11月16日	09721028664	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
愛媛県	平成34年9月4日	3815028664	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
松山市	平成34年5月1日	8911028664	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

*注1.水銀使用製品・産業廃棄物を含む(水銀回収が必要なもの除外)。*注2.石綿含有産業廃棄物を含む。
*注3.自動車のバッテリーを除く廃電池に限る。

株式会社パブリック

- A 株式会社パブリック 選別 破碎 固形燃料化 圧縮・梱包

香川県觀音寺市大野原町福田原241番地1

B 高松事業所

- 選別 破碎 圧縮・梱包

香川県高松市香西本町 1番地122

C 丸亀事業所

- 機器保管 破碎 溶解 圧縮

香川県丸亀市土器町北二丁目17番地

- D 觀音寺事業所 機器保管 圧縮 水溶分離

香川県觀音寺市三本松町三丁目9番8号

E 四国中央事業所

- 切削 破碎 圧縮 淵容

愛媛県四国中央市寒川町2597番地

F 松山事業所

- 圧縮・梱包 選別・圧縮

愛媛県松山市南吉田町2369番地1

G 徳島事業所

- 徳島県吉野川市鴨島町牛島1905番地

H 高知事業所

高知県高知市高須3丁目1-61

I 新居浜事業所

愛媛県新居浜市

J 三豊工場

- 破碎

香川県三豊市財田町財田中吉田

K 山本処分場

- 安定型埋立

香川県三豊市山本町河内蟻ノ股1868番1

有限会社丸亀リサイクルプラザ

- L 有限会社 丸亀リサイクルプラザ 選別

香川県丸亀市土器町北二丁目16番地

- M 三豊オーガニックステーション 発酵乾燥 堆肥化 選別

香川県三豊市高瀬町佐股356番2

N 満濃工場

- 破碎 堆肥化

香川県仲多度郡まんのう町炭所東字山畑524番8

グループ会社

- O 有限会社パブリック

徳島県吉野川市鴨島町牛島1905番地

P 有限会社ヴェイン

香川県丸亀市土器町北二丁目17番地

- Q 有限会社サンクリーン

香川県觀音寺市豊浜町和田浜 1473-2

合同出資会社

- R 株式会社エコマスター バイオマス資源化

香川県三豊市山本町神田30番地1

様々な不燃物に幅広く対応可能!!

これが丸亀不燃選別ラインだ!

スーパー・コンビニから集めたビン、缶、ペットボトルなどの不燃ごみを

INCOMBUSTIBLE GARBAGE LINE

資源化する施設です。

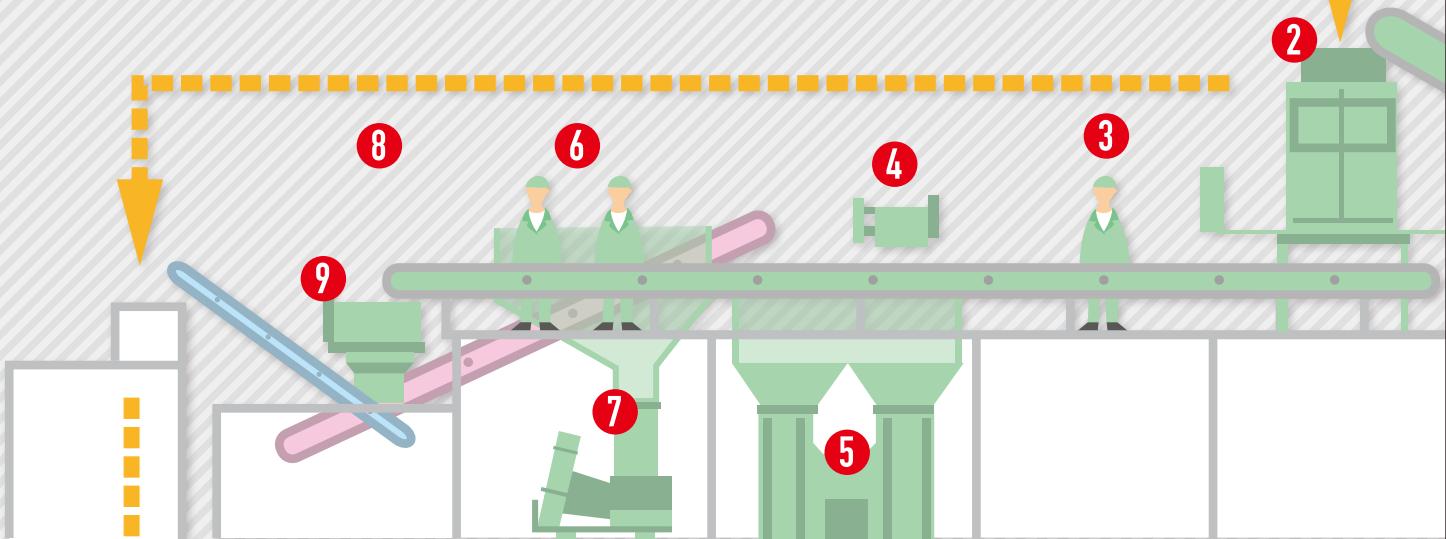


⑨ ペットボトル圧縮プレス機

ラベルが剥がされたペットボトルをプレスして運搬しやすい形にします。



安全に作業ができるように、「安全祈願祭」の様子。



⑩ 破碎機

残ったビン類(ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず・金属くず・廃プラスチック類(ペットボトル以外)を破碎します。

⑪ 一灯缶圧縮プレス機

回収した一灯缶をプレスして運搬しやすい形にします。



① 投入ホッパー

びん、缶、ペットボトルなど不燃物として回収してきたものをここから投入します。

② 破除袋機

不燃物の入っていた袋を破ります。

③ 手選別ゾーン

ビン・缶・ペットボトル以外のごみを手選別で取ります。

④ スチール磁選機

磁選機にてスチール缶のみ抜き取り下に落とします。

⑤ 空缶プレス機

抜き出したスチール缶とアルミ缶をプレスして運搬しやすい形にします。ある一定の重さになるとアルミ、スチールそれぞれのホッパーが上がりプレスされます。

⑥ 手選別ゾーン2

ペットボトルを手作業で抜き取って下のラベル分離機に落とします。

⑦ ペットボトルラベル分離機

抜き取ったペットボトルのラベルを剥ぎ取ります。

⑧ アルミ選別機

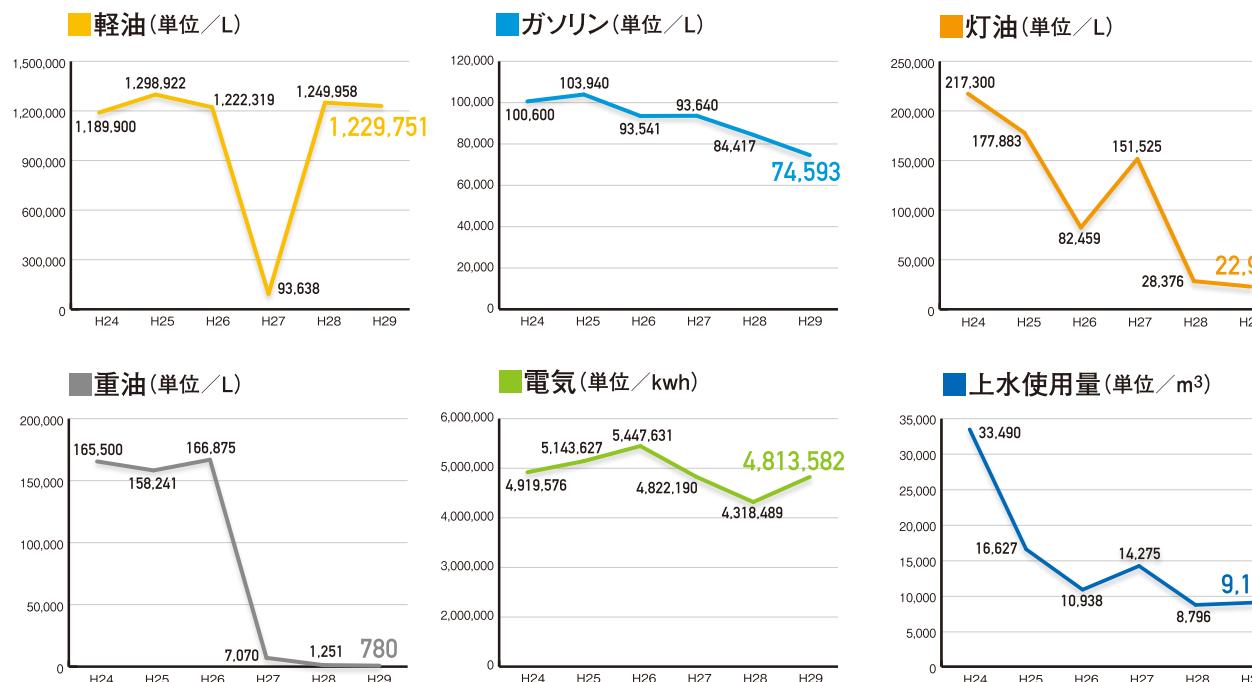
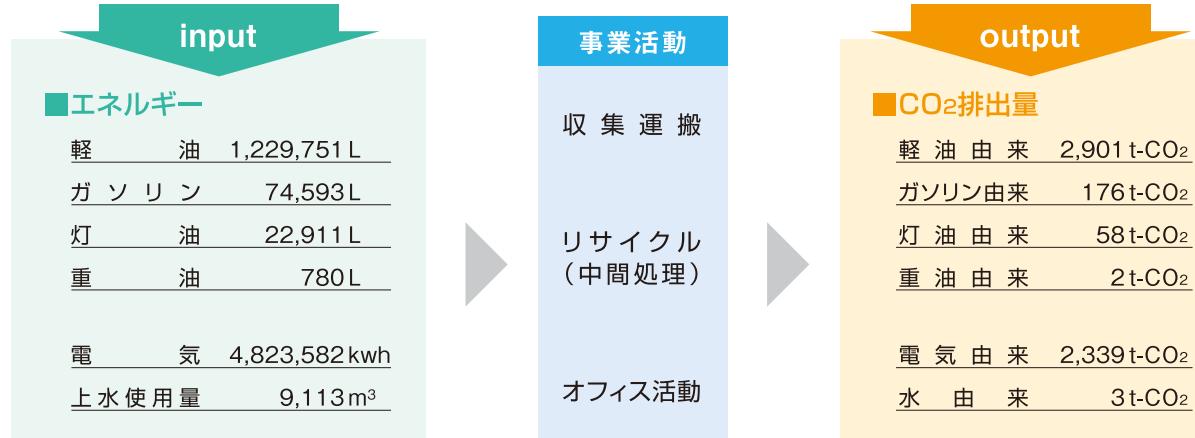
アルミ缶だけをはじきベルトコンベアにより5番のプレス機に流れます。

環境負荷の低減

マテリアルバランス

パブリック・グループの事業活動である収集運搬・中間処理およびオフィス等で使用した資源のinputと環境への排出量outputを表しています。

集計期間
 ■燃料使用量／平成29年4月～平成30年3月までの集計
 ■電気使用量／平成29年4月～平成30年3月までの集計
 ■水道使用量／平成29年4月～平成30年3月までの集計



※集計方法の変更により一部数字が変動しております。

オフィスでの環境活動

オフィスでもできる環境取り組みとして、電力の削減を課題として事務所内蛍光灯をLEDにすることで大幅な電力削減が見込まれます。その他にも全事業所の蛍光灯にプラスイッチを設置しました。また、TV会議システムを導入することにより、会議等による事業所間の移動を減らしCO₂の削減とコストダウンにも成功しました。そのほかオフィス内では、ごみの12分類分別や緑化活動にも取り組んでおります。

産業廃棄物収集運搬(特管)と処分量取扱量

平成29年4月1日～平成30年3月31日まで
 ※代表的な施設のみの掲載です



産廃・特管運搬量
46,035t

産廃処分量
53,662t

III

社会との関わり

お客様とのコミュニケーション

持ち込みのお客様対応

お持込にご来店頂いたお客様に、感謝の気持ちを込めて少しでも暑さや疲れが和らぐようにジュースやお菓子を準備しております。バレンタインにはチョコレートを感謝の気持ちを込めてお渡しました。お客様がお仕事の間で、ホッと笑顔になれるようにサービス向上に努めてまいります。



パブリック通信

2ヶ月に一度、社内の編集スタッフで会社報「パブリック通信」を作成し、お客様に送付させて頂いております。当社の食品リサイクルから作られた堆肥を使用した試験農場の「パブリックオーガニックファーム」の近況、ご挨拶、社内ニュース、最新廃棄物情報などを掲載しています。ぜひ皆様も一度ご覧になってください。



PSSMDへの取組み



PSSMDとは… 人柄・営業力・管理能力・安全運転技術すべてを兼ね備えたスーパーパブリックマン(最終目標)

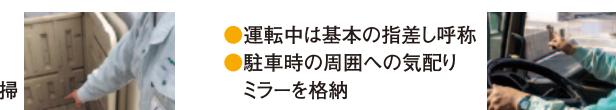
P 人柄 **S スーパー** **S 営業力** **M 管理能力** **D 運転**

新人研修	KYT (危険予知トレーニング)	PSSMD リーダー研修	安全パトロール・ 街頭指導	安全講習会	添乗指導
専門講師による座学、実際の車両を使ったメンテナンスの講義、路上訓練などを行います。	ドライブレコーダーから映像を取り込みDVDを見ながら潜む危険を探すトレーニングです。	四国四県の各事業所からリーダーが集まり業務中の「困った」を改善する研修です。	抜き打ちで作業現場に行き、運転・作業の基本動作が守られているかチェックします。	自社・他社様の事故・労災事例を取上げ、具体的な事例を挙げて原因・再発防止対策などを語る講習会です。	鹿児島・コンテナ脱着車・パキーム車に指導員・検定員が乗り込んで運転・作業・接客を指導・チェックします。

などなど…他にもメニューは盛りだくさん!!

一部PSSMDの取組みをご紹介

- ごみの取り残しチェック
- ごみネットの片付けチェック
- ごみ庫の汚れを常備している水で清掃



社員とのコミュニケーション

入社式



今年も、この春大学を卒業した仲間が一人パブリックに増えました。入社式では決意表明も行い、社会人としての一歩を踏み出しました。一日も早く会社にも慣れて頑張ってもらいたいです。



社員研修

従業員のスキルアップや幹部候補育成のために、社内研修や社外での研修やセミナー等にも積極的に参加しています。社内研修においては、テストにより理解度の確認をし、間違った部分に関しては何度も繰り返し復習し習得していきます。また、運転技術とマナーに関するコンサルタントの講師を招き添乗指導や危険予知トレーニングを定期的に実施し、人柄、営業力、管理能力、安全運転技術のすべてを兼ね備えたドライバーの育成に取り組んでおります。



ソフトボール大会

毎年恒例の観音寺市商工会議所様主催のソフトボール大会が開催され、弊社からも緑のユニホームの産廃チームと赤のユニフォームの一廃チームの2チームがエントリーしました。朝の開会式では、クジであたった産廃チームキャプテンが選手宣誓を行い、皆さんの注目、喝采を浴びました。結果の方は…優勝とはいきませんでしたが、楽しく汗をかき交流を深めることができました。



望年会

恒例の望年会が行われました。四国内の全事業所から集まるイベントは望年会だけしかないと社員の家族の方もご招待し、総勢で338名の方が参加されました。勤務地が違うと普段なかなか顔お合わさない仲間と話したり、余興やピンゴゲームなどで盛り上がったりと楽しい時間を過ごしてもらいました。また、裏方となって動いていた関係者のみなさまに感謝申し上げます。



事業所対抗の仮装大会①

事業所対抗の仮装大会②

最後はいつもの「おかげ節」

地域とのコミュニケーション

環境展(エコマスター)

株式会社エコマスターが5月に東京ビッグサイトで開催された環境展に出展しました。日本初のリサイクル技術であるトンネルコンポスト方式をパネルや模型、映像などを使って紹介させてもらいました。ブースには4日間で延べ300名以上の方にご来場いただき、実際に三豊市まで工場見学にお越しいただいた方もいらっしゃいました。ご興味がある方は是非見学にお越しください。随時受付しております。



復興支援

西日本を襲った豪雨により各地にて被害や災害が発生致しました。豪雨災害により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災されました皆さまには心よりお見舞いを申し上げます。弊社では岡山県倉敷市真備町で発生した大量のごみを倉敷市内にあります指定集積所への運搬という形で復興支援に参加させていただきました。被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

インターンシップの受け入れ

地域貢献活動の一環として、本年度よりインターンシップの受け入れを始めました。本年度は9月4日より10日間、香川大学工学部3回生の学生さんをインターンシップとして受け入れました。期間中は講義や施設見学のほか水処理分析の業務などを体験してもらいました。今回の体験を通して環境問題に対してより興味をもっていただくとともに、就職活動の一助となることを願っています。



地域清掃への参加

今年も地元の自治会が行う清掃活動や溝さらいに参加しました。地元の方とのつながりを大切にし、清掃活動だけでなく、地元のお祭りやボランティア活動にも参加させて頂いております。地元の方々とも良好な関係でこれからも続けていけるようコミュニケーションをとっていきたいです。



工場見学・職場体験

平成29年10月／視察

中南米カリブ10カ国の行政官のみなさん

再生可能エネルギー普及促進のため、エコマスターと弊社の固形燃料施設の視察でお越しになりました。海外からのお客様は珍しく、パンフレットを英訳したり大変でしたが、弊社施設を写真に収めたり、固形燃料を実際に手に取っていただいたら普段見学にいらっしゃるお客様と同じように学んでいただけたのではないかと思います。



平成29年12月／職場体験

丸亀市立西中学校の生徒さん

恒例になりました丸亀市立西中学校の職場体験で2名の生徒さんが今年もいらっしゃいました。1日目は丸亀事業所で不燃ごみの選別体験をしてもらい、2日目は本社での施設見学のあと萩の湯でお手伝いをしてもらいました。少しの時間でしたが、これから的人生で何かの役にたててもらえればうれしいです。



平成30年5月／工場見学

近隣自治会のみなさま

近隣自治会の会長様をはじめ12名の皆さまが工場の見学にいらっしゃいました。臭気や騒音で、迷惑をおかけすることもございますが、みなさんのご理解があるからこそ、弊社の操業も続けられています。いつも、大変お世話になり本当にありがとうございます。



平成30年6月／職場見学

香川県立西部養護学校の生徒さん

香川県立西部養護学校の生徒さんが職場見学でいらっしゃいました。弊社でがんばっているOBからの挨拶と1日の過ごし方を紹介したあと駐車場にて塵芥車でのごみの回収業務やコンテナの引上げ業務を見学、体験してもらいました。



平成30年9月／工場見学

観音寺市立大野原小学校の児童さん

観音寺市立大野原小学校は本社の地元小学校で、卒業した社員もたくさんいます。毎年4年生がこの時期に環境学習の一環で来社されています。今年も93名の児童さんが工場見学でいらっしゃいました。学校でも環境問題を学んでいるそうですが、実際にごみがリサイクルされて製品になる工程を見たり、できあがった製品に触れたり臭いをかいだりして体験してもらいました。生ごみなどもあるため、工場の中では鼻を覆ったり、つまんだりする児童さんもいましたが、説明を聞くときは真剣にメモをとっていました。最後にはトラックスケールの上に全員で乗ってトラック1台いっぱいに積まれたごみの重さを体験してもらいました。来年も社員一同お待ちしています。



平成30年10月／工場見学

観音寺市立高室小学校の児童さん

観音寺市立高室小学校の児童さん20名が見学にいらっしゃいました。高室小学校は初めての見学になりました。工場施設の見学のほかに、塵芥車でのごみ収集の実演や恒例のトラックスケールに全員で乗っての重量計測などを行ってもらいました。年々見学に来られる小学校が増えていて、それだけ環境に対して熱心になられている学校が増えてきているのだとおもいます。地元だけでなく、観音寺市周辺の教育関係者の皆様、ぜひ弊社まで見学にお越しください。



平成30年11月／工場見学

観音寺市立栗井小学校の児童さん

観音寺市立栗井小学校の児童さん9名が見学で来社されました。栗井地区も本社の周辺に位置しており、社員の中に卒業生も多くいます。この日はあいにくの天気の中、工場見学をしてもらいましたが、みなさん熱心に説明を聞きながらメモを取っていました。少子化の影響で児童さんの数も少なくなっているみたいですが、他の小学校に負けないくらい元気な児童さんばかりでした。ぜひ来年も見学にいらしてください。



このほかにも見学・体験に多数ご来場いただきました。

食品リサイクルの取組み

弊社では昨年、三豊オーガニックステーションに自動選別機を導入し、廃棄製品の投入から選別までの作業を自動化することができました。また、堆肥化施設が敷地内に併設されているため、運搬効率もあがり処理能力の向上と作業負担の軽減などによる作業環境の改善にもつながりました。最近では食品ロスについても大きな問題になっており、多くの企業様から取引条件として食品リサイクル施設が整備されていることが条件として上がることも多くなりました。大手スーパー・マーケットやコンビニチェーン様などは独自のルートを構築し、食品リサイクルループを完成させている企業様もございます。弊社としましては、四国では食品循環資源リサイクル(リサイクル・ループ)のパイオニアとして、より一層リサイクル業務に取り組んで参りたいと思います。



高まる食品リサイクルの需要に対応する2工場体制



満濃工場

■堆肥化(20t/日)・破碎(16t/日)

サークルコンポで連続的に食品資源を堆肥化しています。産業廃棄物処分業許可、農林水産大臣・環境大臣登録再生利用事業者登録を受けています。



三豊オーガニックステーション

■堆肥化(36t/日)〈発酵乾燥(6.94t/日)、(選別 40t/日)〉

バイオフィルター(生物脱臭装置)を完備した環境配慮型堆肥化施設。一般廃棄物・産業廃棄物処分許可、農林水産大臣・環境大臣登録再生利用事業者登録を受けています。

法令遵守

弊社の食品リサイクル工場では、搬入された廃棄製品を自動選別機にて食品残渣と容器類に選別し、選別された食品残渣は発酵乾燥され堆肥化工場に、容器類は焼却処分等適正に処分しております。また、廃棄物処理業者による廃棄食品の横流し事件がありましたら、私ども工場ではこのような事を起こさないよう24時間カメラにて現場を監視しております。



もったいない 汚泥発酵肥料 リ・グリーン

食品循環資源を有効活用したリサイクル肥料です。

土壤の改善をし、野菜や果物の成長を促します。袋詰め製品、バラの配達承ります。

特徴

動植物性残渣・食品工業汚泥バーク・糞穀を利用したミネラル分豊富な肥料です。また通気性・保水性・保肥力に富み、地力の増進及び土壤改良効果を発揮します。特に葉物野菜のキャベツやレタス等に最適です。当社ファームで栽培しているみかんも好評を頂いております。

成分

■ 硝素全量 (%)	1.7
■ リン酸全量 (%)	0.8
■ 加里全量 (%)	0.9
■ 炭素窒素比(C/N比)	9
■ 水分(%)	41.8
■ 有機物含有量(%)	51.0

施用量

1袋:40L/15kg入り
■ハウス温室.....3/4袋 (3.3m ² 当たり)
■露地作物・家庭菜園.....1袋 (3.3m ² 当たり)
■鉢物.....20% (鉢容積当たり)

※重金属や化学薬品等の環境影響を与えるものは含まれておりません。



パブリック・オーガニックファーム



パブリック・オーガニックファームは、「もったいない 汚泥発酵肥料 リ・グリーン」の試験農場として2009年よりスタートしました。広さは約7000m²あり、四季を通じて、様々な野菜や花卉・果樹を栽培しています。収穫された野菜などは弊社指定管理の「萩の湯」などで地元の皆様に提供させていただいております。

いろいろな野菜や
果物、植物を
栽培しております。



チャンスコール(クレーム)とその対策

パブリック・グループにお寄せ頂いたクレーム(苦情)を、私達は成長のきっかけとなるチャンスコールと捉えて、前向きに対処させて頂いております。



パッカー車の後ろにある
作業灯が点灯しており、
非常に眩しかった。
可能であれば、消灯して
走行してほしい。

対策!
周囲に自車の存在を知らせるために
昼間の明るい時間でもライトをつけて走行
していましたが、作業灯が後方の車輌に
不快感を与えることになってしましました。
TPOを意識して他の車の不快になるような
ことは、改めています。

今日回収してもらったが、
車から油漏れがあった
ようです。

対策!
油圧ホースに亀裂があり、そこから漏れて
いたようです。油の吸着と中性洗剤を使って
清掃しました。日常から運行前の車両点検を
強化し、故障を事前に発見できるように
整備部門からの講習も行いました。



スタッフボイス

一般廃棄物事業部 徳島事業所 班長

北尾 悅男さん



私は一般廃棄物、産業廃棄物の収集運搬を行っています。まだ分からぬ事ばかりですが、常にお客様の立場に立って考え、今、自分ができる最高のサービスを提供できるよう仕事に取り組んであります。お客様から「この人に任せて良かった」と言つてもえらるように頑張ってまいります。

一般廃棄物事業部 観音寺事業所 班長

清水 陽平さん



私は観音寺事業所で一般廃棄物の収集運搬業務を行っています。運転マナーはもちろん、お客様とのコミュニケーションにも心掛けています。お客様から相談を受けたり、お困りごとを伺ったり、ご指導を受けたりしながら信頼を頂けるよう努力してまいります。

一般廃棄物事業部 高松事業所 班長

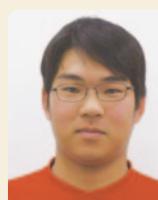
久保 壮太さん



私は一般廃棄物の収集運搬業務を日々行っております。今年、班長に任命いただき、今まででは自分や家族の為了働いていましたが今は、家族だけでなく仲間や会社の事も常に想い毎日がんばっています。まだまだ覚える事ばかりの私ですが、仲間に支えながらも、CSを高め地域社会に貢献しながら一步歩楽しく進んでいます。

一般廃棄物事業部 丸亀事業所

庄野 太郎さん



私は一般廃棄物の収集運搬業務を行っています。収集業務は早朝からスタートする為、ごみの量に応じてエンジンを停止して作業したり、必要以上に車を加速しないなど騒音には細心の注意をはらいながら作業しています。早朝に限らず、日中も周囲に気を配り、ドライバーのお手本になれる様に意識して、日々の業務にあたっています。

総務部 ICT部門

茅窪 靖士さん



ICT部門担当の茅窪です。社内の日常業務が滞ることなく行えることは、もちろんですが昨今大きな問題となっており情報漏えいや外部からの不正アクセスへの対策、また地震や豪雨による自然災害へのBCP対策など問題は山積みですが安定した運用を継続できるよう一つずつ解決して参ります。

産業廃棄物事業部 申請課

富田 宣光さん



私は工場・浄化槽・最終処分場等からの各種排水や環境に関わる水の分析を行っています。排水には河川や下水道等の放流先毎に遵守すべき基準が定められており、もし分析結果が基準を外れた場合には急ぎ関係者に連絡し、原因の究明や対策の検討・実施、改善により環境への悪影響を未然に防ぎます。

営業部

藤田 貴裕さん



私は営業職として日々様々なお客様の元へ訪問しております。この仕事はお客様ごとに廃棄物の種類が様々であり、また法律が大きく関わってくることから、日々精進することが大切。これからもお客様のご要望にお応えできるよう、また信頼される営業マンになれるよう頑張ってまいります。

販売管理係

堀家 千安希さん



私は、丸亀事業所に勤務しています。受付・売上・マニフェスト処理などの業務に携わっています。廃棄物に関する法律は厳しく、覚えることもたくさんあって戸惑いもありますが、お客様や販売管理の先輩、事業所の方たちに支えていただきながら、日々頑張っています。

PUBLIC WAY 2018-19 社会正義への道 | 編集後記 |

日頃より大変お世話になっております。

おかげさまで、「PUBLIC WAY」も区切りとなる10年目を迎えました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と、深く感謝しております。

今まで10年にわたり環境報告と様々な特集や弊社施設の紹介をさせてもらっていましたが、初回の2009年号から御拝読頂いている方もいらっしゃれば、今号で初めてお渡しできた方もいらっしゃるかと思います。「過去のPUBLIC WAYをぜひ見てみたい」、「弊社のことをもっと知りたいと」おっしゃる方がいらっしゃいましたら、冊子としては在庫を切らした号もございますが、データでの配布は引き続きさせて頂いております。遠慮なく弊社(PUBLIC WAY編集委員会 TEL 0875-57-1200)までご連絡ください。

さて、今年は弊社と株式会社エビス紙料様の合同出資会社の株式会社エコマスターが環境展に出展させていただきました。昨年の「PUBLIC WAY 2017-18」でも特集で紹介させていただきましたが、日本で初のトンネルコンポスト技術を多くの方に興味をもっていただき、環境展のあと、たくさんの自治体や企業様からの見学依頼がございました。そちらの内容については今号の17ページ「地域とのコミュニケーション」にて紹介しています。

その他の記事や内容につきましてご意見、ご感想などございましたら、同封しておりますアンケート用紙に御記載頂ければ幸いです。皆さまからご意見をこれからのが「PUBLIC WAY」の作成に活かしより良いものを作っていくたいと存じます。

今後ともパブリックグループともどもご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株式会社パブリック PUBLIC WAY 編集委員会

2018年12月1日



本報告書の作成について



水なし印刷

水なし印刷は、印刷時の現像液や印刷時の湿し水を使わず、廃液の処理や湿し水の製造にかかるCO₂もゼロになる環境にやさしい印刷方式。その水なし印刷による印刷物であることを認証し、製造過程で排出したCO₂を埋め合わせ(オフセット)、印刷物1部あたりのオフセット量を明記しました。



Non-VOCインキ

大豆油インキの植物性溶剤の比率が20~40パーセントに対し、「ノンVOCインキ」は、VOCの含有量を1パーセント以下もしくはゼロとなっています。大豆油インキ従来の溶剤に比べて、揮発性のない植物油(大豆油)の割合を増やしたものです。従来のインキと比較すると、石油系溶剤を20~40パーセント減らせます。



FSC認証紙(ミックス品)

FSC認証林及びリサイクルされた木材や木材繊維からの製品グループです(第三者により検証されたポストコンシューマーリサイクル原材料含有)。

本報告書は環境に配慮した印刷で作成しています。